

### 3-3 日光・足尾付近の地震活動（2000年5月～2000年10月）

#### Seismic Activity around the Nikkou・Ashio area (May, 2000 - October, 2000)

東京大学地震研究所  
地震地殻変動観測センター

Earthquake Research Institute, University of Tokyo

##### 日光足尾地域の地震活動

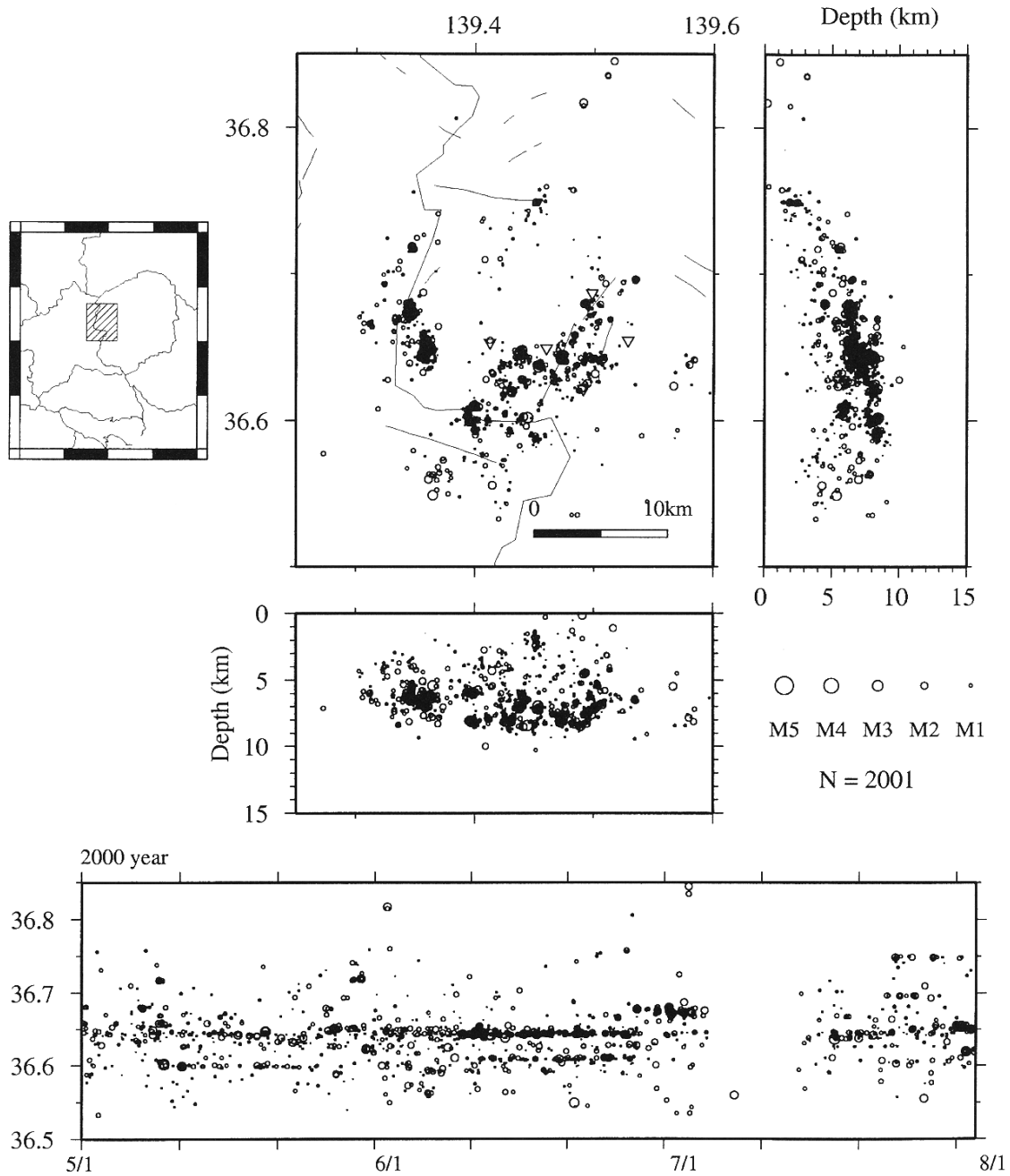
定常的な活動は起きているが、おおきなイベントはない。5月から7月に約2000個の地震が、8月から10月に約1280個の地震が観測された。6月26日より発生した三宅島、近津島、新島周辺の激しい群発地震活動のため、足尾付近の地震でトリガーがかかりづらい状態がつづいたので、7月、8月は普段の状態より検知能力がない。マグニチュードが3を超える地震としては、内籠断層の南西端、栃木と群馬の県境付近を震央とする深さ8.4kmの地震が、5月9日8時48分(M3.0)に発生した。この期間では5月から6月、8月から9月に発生した、庚申山南側のクラスターと、6月末から7月の初めに発生した皇海山付近のクラスターの活動が最も目立つ活動である。足尾周辺のクラスターもいくつか活動しているが、大きな活動はない。(第1図, 第2図)

##### 栃木県五十里湖付近の地震活動

10月18日12時58分に、栃木県五十里湖付近を震央とするM4.9(JMAM4.4)で深さ5.6kmの地震が発生した、現在まで続いている。11月15日までに、約70個の地震が観測されている。メカニズム解は、北西—南東圧縮軸の横ずれ型である。栃木県北部から、福島県の桧枝岐地方にかけては、これまでも、浅い、微小な地震が発生しているが、桧枝岐地域を除いてはまとまった活動はまれであった、この地震に先立って約10km北西の県境近くで数個の地震が発生している。この活動は11月まで続いている。この地域では、1683年にM7.0の地震が発生している(第3図)。

(萩原弘子)

2000.5.1 - 2000.7.31 ASHIO

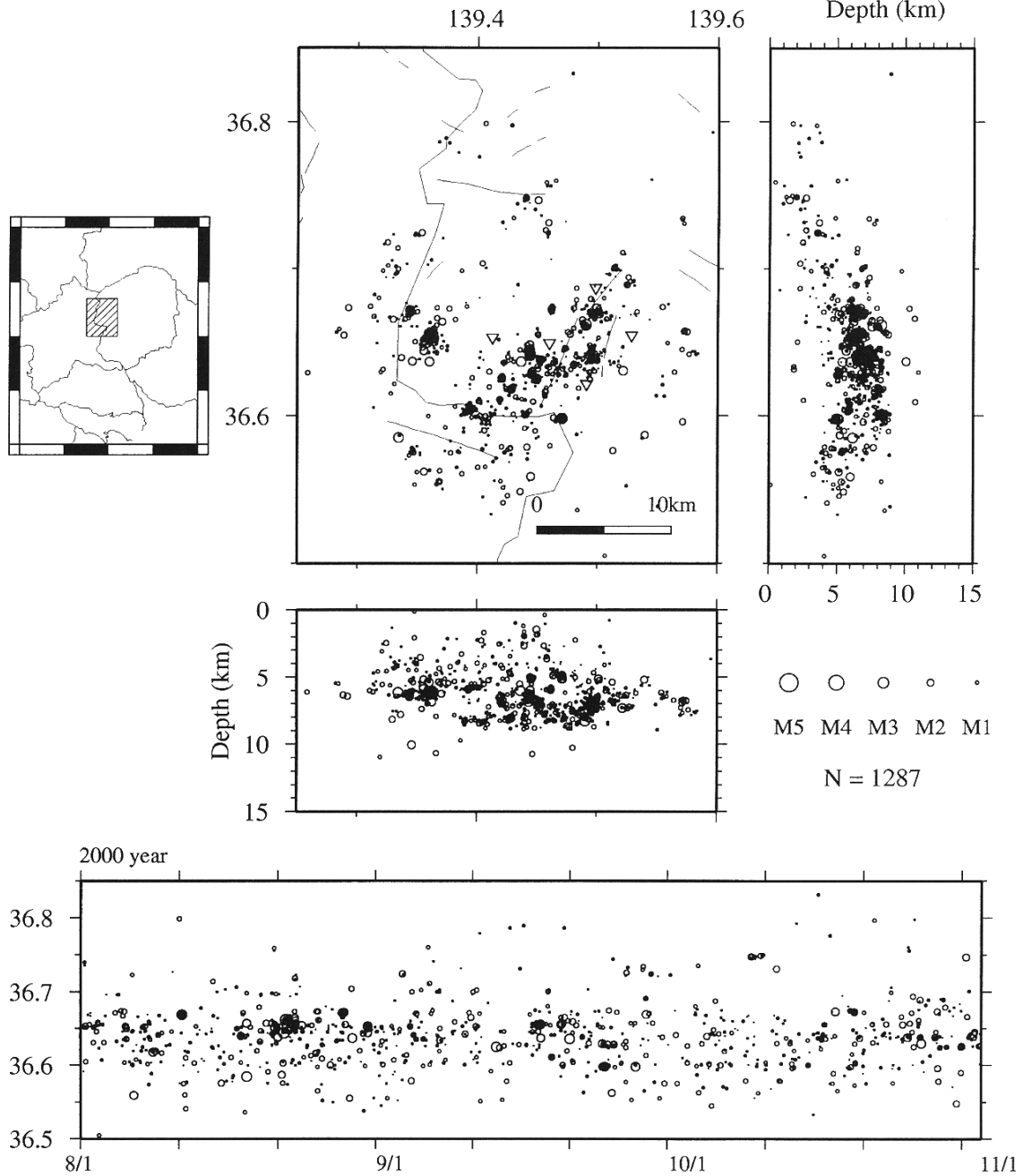


● 7月4日10時より7月13日20時まで、テレメータ装置が不調のため欠測

第1図 日光・足尾地域の地震活動 (2000/5~2000/10)

Fig.1 Seismicity in the Nikko-Ashio area (2000/5-2000/10).

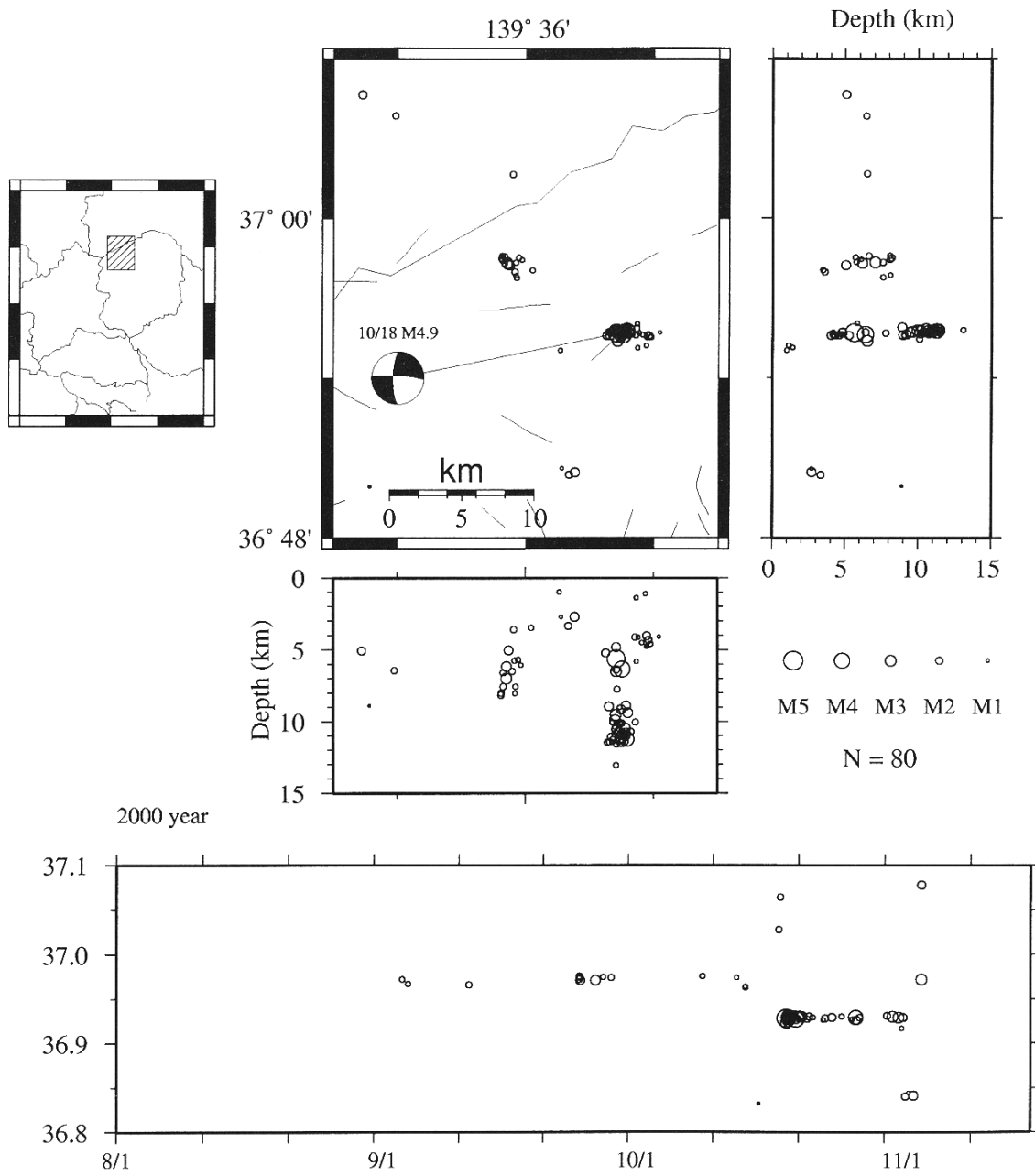
2000.8.1 - 2000.10.31 ASHIO



第2図 日光・足尾地域の地震活動 (2000/5~2000/10)

Fig.2 Seismicity in the Nikko-Ashio area (2000/5-2000/10).

2000.8.1 - 2000.11.15 KAWAJI



第3図 栃木県北部の地震活動

Fig.3 Seismicity in the Northern Part of Totigi Pref.